



鶴南五分だより

長崎県立鶴南特別支援学校五島分校



小学部

福江小特別支援学級との交流及び共同学習

小学部では、福江小学校特別支援学級との交流及び共同学習を年に3回実施しています。第1回目を6月21日(金)に福江小学校の体育館で行いました。初めに、新転入生の自己紹介から始まりました。一人一人の自己紹介の後には自然と拍手が生まれ、温かい笑顔に包まれた時間が流れていきました。レクリエーションでは、「誕生月のうた」に合わせて触れ合い遊びをしたり、「しろくまのジェンカ」の音楽に合わせてじゃんけん遊びを行ったりしました。今年度初めての交流でしたが、ゲームを通して自然と触れ合いが生まれ、たくさんの笑顔が見られた交流になりました。今回の交流をきっかけに、更に関わりを深めていけたらと思います。



〈自己紹介の様子〉



〈誕生月のうたの様子〉



〈じゃんけん列車の様子〉



平和学習「へいわってどんなこと？」

8月9日の平和の日を前に、各学級で平和学習を行いました。小学部では、映像や絵本などを見ることを通して、1945年8月9日に長崎に原子爆弾が投下され多くの方が命を奪われたことや、自分たちが生きる今もお戦争が起きていることを知り、日々の生活に置き替えながら「戦争と平和」について考えました。今何気なくしている「ご飯を食べること」「友達とたくさん遊べること」「勉強ができること」など、生活の中に「平和」があふれていることに気付くことができた児童も多かったです。登校日の8月9日には、福江小学校と合同で平和集会を行い、子どもたち一人一人が思いを込めて作った折り鶴の献鶴式や平和宣言の発表などに取り組みます。



スライドや映像を見て「戦争」や「平和」について学習しました。



戦争や平和について学習した後、「平和のために自分たちができること」を一人ずつ考えました。



千羽鶴を折りました。



中学部では、福江中学校特別支援学級との交流及び合同学習を年に2回実施しています。1回目は、7月2日(火)に福江中学校で行いました。

自己紹介では、自分の名前の他に好きなものや趣味などを、みんなの前で堂々と発表することができました。レクリエーションでは、初めにジェスチャーゲームをしました。背中に貼られた動物のイラストを見せ、特徴をよく考えて身振りだけで工夫しながら伝え合っていました。ボウリングでは、始めは緊張している様子でしたが、2投目からは、しっかり狙いを定めて投げ、たくさんのピンを倒すことができました。両チーム、一球一球とても盛り上がっていました。風船バレーでは、3分間でラリーを何回続けられるか、チームで競いました。膝立ちでのプレーは思っていた以上に難しかったようで、初めはラリーが続きませんでした。慣れてくると力を加減したり、自分からボールに触ったりする様子が見られるようになり、最高で約40回続きました。短い時間でしたが、全員が交流を楽しむことができました。

2回目の交流は、五島分校で行う予定です。今回の交流をきっかけに、次回はさらに関わりを深めていきたいです。



「五島市の宝を調べよう」

一学期の総合的な学習の時間では、「五島市の宝を調べよう」という学習をしました。

まずは、生徒たちが五島市の宝(五島市の良いところや好きなどころ)について考え、学校周辺を散策したり、タブレット端末で調べたりしてまとめ、それぞれ発表しました。鬼岳や高浜海水浴場、五島牛やきびなど、多くの宝に気付くことができました。

次に、福江商店街でインタビューを行い、多くの方々の意見を聞かせていただきました。五島市の宝だと思うものについて、自然・文化・歴史・建物・グルメの五つから選んでもらい、特に宝だと思うものは何か答えていただきました。大瀬崎灯台や新鮮な野菜など、自分たちからは出てこなかった意見を聞くことができました。初めは緊張してなかなか声を掛けられずにいましたが、勇気を出して声を掛け、20名程の貴重な意見を聞くことができました。インタビューの結果は、ジャンルごとに集約し、模造紙にまとめています。

二学期はこの学習を基に、さらに考えを深めながら、「五島市の宝を体験しよう」という学習に取り組みます。





高等部

障害者スポーツ大会・高総体 壮行会



障害者スポーツ大会と高総体の壮行会を5月に行いました。選手から大会に向けた意気込みや目標の発表、宣誓がありました。高等部応援団は、熱いエールと思いのこもったお守りを渡し、選手の力を後押ししました。



高校生さわやか運動

6月3日（月）～7日（金）までの長崎っ子の心を見つける教育週間中、生徒会を中心に挨拶運動を行いました。鶴南生だけでなく、海陽高校の生徒や先生、校門前を通る近所の方に笑顔で挨拶をし、「朝から元気がもらえました！」という声もありました。気持ちの良い挨拶をこれからも学校全体で続けていこうと思います。





「地域に根ざした五島分校」

高等部主事 吉村 英治

先日、五島警察署に出かけた際、掲示板を眺めていたら『五島分校』の文字が目飛び込んできた。中学部が描いた交通安全のポスターが掲示されていました。さらに警察署内を見渡すと、ポスターだけではなく、中学部が制作した『立入禁止』や『止まれ』などの標識も各所に掲示されており、「ほっこり」とした気分になりました。

また、別日には、現場実習などでも大変お世話になっているスーパー「ダイキョーバリュー」で買い物をしていたところ、商品棚には『マイバックをもってきて 鶴南特別支援学校五島分校』『てまえどり KAKUNAN GOBUN』という表示が！高等部生徒手作りの啓発表示（POP 広告）がスーパーで活用されていることにうれしさを感じました。



【「ダイキョーバリュー」POP 広告】

他にも、商店街のお店のシャッター絵画や掲示板など、地域の各所で『鶴南特別支援学校五島分校』の存在を感じることができます。地域の方々から、「卒業生の作品だよ」「卒業生が働いているよ」などの話を伺うと、地域に根ざした五島分校であることを感じ大変うれしい気持ちになります。

さて、五島分校では昨年度に引き続き、地域の方々と連携した体験活動などを重視した学習に取り組んでいます。小学部3・4年生、生活科「働く人を知ろう」では、商店街の店に出掛け、働く人たちの様子を見学させていただきました。

総合的な探求の時間
恵プラザこども園 記事



7月19日(水) 長崎新聞

ゲームや音楽 園児らと交流

鶴南特別支援学校五島分校高等部の生徒16人が14日、同市大徳町の恵プラザこども園で、ゲームや音楽を通じて園児たちと交流した。

総合的な探求の時間の一環で、五島の伝統文化を伝えるために、園児らと交流する機会を設けた。生徒が五島の多様な特産品を題材にしたオリジナルのかるたを作った。『夕日が美しい大徳塔が』など、園児が読み上げ、園児たちも手を叩きながら歌いながら楽しんでいた。この活動を通じて、園児らと交流する機会を設けた。

（取材先）恵プラザこども園

中学部では、五島在住で飲食店経営をされているイタリア人の方に来校いただき、外国の文化についてのお話を聞き、交流を深めることができました。

昨年度、高等部では、「総合的な探求の時間」の授業の一環で、「恵プラザこども園」を訪問し、子どもたちに五島の伝統や文化を教えながら交流を行いました。子どもたちが喜んでいる姿を見て鶴南生も元気ももらいました。新聞記事にも取り上げていただきました。今年度は高齢者介護施設「なごみ会かけはし福江」を訪問させていただき交流をする予定です。

このように、五島分校が多くの学習機会を得られているのも、温かい五島の方々のおかげであり、これからも、五島の方々のた

くさんの協力を得ながら、さらに地域に根ざした五島分校を目指していきたいと思ひます。

来年度、五島分校は創立10周年を迎えます。今後も、地域とともに育つ五島分校の子どもたちの姿を様々なかたちで発信し、紹介していきます。

アクセス急増中



「子どもたちの学習の様子をぜひ学校ホームページでご覧ください」

【学校ホームページ】

